令和6年度 第3回四国中央市下水道事業経営審議会要旨

日 時 令和6年11月27日(水) 13:30~14:15

場 所 四国中央市役所 市民交流棟 2階会議室

出席委員 青木 尊治、井川 睦実、佐藤 温美、大西 敏彦(副会長)、篠原 由美子
柴垣 宜治、手島 純、藪谷 智規(会長)

欠席委員 石川 多宣

事務局 石田建設部長、星川下水道課長、薦田、仙波、石川

傍聴者 0名

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題 諮問「下水道使用料のあり方について」

前回までの審議結果について

答申(案)について

○事務局より説明

審議結果：令和7年から11年までの5年間

：資産維持費は使用料収入対象経費に含めない

：改定率 13.5% 経費回収率 5年平均 100%

：基本使用料・従量使用料一定割合で改定

湯屋汚水は料金改定なし

附帯意見について

・委員

前回改定の時期は？

・事務局

平成22年度です。

・藪谷会長

前回の改定時期を1.はじめにの欄に追記するのでもいいか？

・委員

それでかまわない

・藪谷会長

料金表の従量使用料の料金単位がないので、(1㎡につき)と追記すること。

使用料の見直しは前回改定が平成22年度ということで、やはり定期的に料金改定

について見直すことを附帯意見としてはどうか？国の考え方でも5年に1回程度、

経営戦略でも5年間とあるので、5年程度で定期的に見直すということでどうか？

・委員

それでかまわない

・委員

上水道を使って花木へ散水した場合、下水道に流していないが、料金は上水道使用

量と同じで、下水道料金も水道料金の検針票と一緒にになっているのに、組織として

別々にあるのが不思議だ。上下水道局として1つの組織にはならないのか？

- 事務局

他市では上下水道局になっているところもある。

R6.4月から国の所管も上水道が厚生労働省から下水道と同じ国土交通省に移管されたので、ゆくゆくは1つの組織になっていく流れなのかと思われる。

- 委員

下水道使用量を正確に測定する仕組みはないのか？上水道使用量と同量が基本か？

- 事務局

大量に下水道へ流さない場合は、メーターを設置して、下水施設へ排水する水量を計量し、その分を減量等することができる。

- 委員

下水道のしくみや料金など、あまり知られていないので、折々のイベントなどの場面で広報活動してもいいのでは？

- 藪谷会長

教育の場や色々な機会で、下水道事業のしくみや経営状況など周知、広報することが大事だ。

今回の料金改定についても、下水道事業の概要や経営状況などきちんと周知すること、附帯意見とするのはどうか？

- 委員

それがかまわない

- 藪谷会長

下水道事業を健全に経営するために、やはり計画的、効率的な運営をしていただくことを附帯意見とするのはどうか？

他市と比べて著しく低い有収率について改善すると経費削減になる。何か方策はあるか？

- 大西副会長

下水道に接続して、水洗化率を上げることが1番だ。

- 藪谷会長

下水道事業で、太陽光発電・汚泥の肥料化・燃料化など資源活用を検討している中、経営努力の面からも、有収率、水洗化率の向上や資源活用など下水道事業全体の収入確保を図っていただくことも附帯意見としたらどうか？

- 委員

それがかまわない

4. その他

今後の流れを事務局から説明

5. 閉会